

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第2回松阪市図書館協議会
2. 開 催 日 時	令和2年1月20日（月） 午後2時00分～午後4時10分
3. 開 催 場 所	松阪公民館 講座室1
4. 出席者氏名	（委 員） ◎ 辻淳子、○ 中村陽子、細野吉夫、宮本満生、井上恵子、 東川有子、横山みち代、鈴木美保、嶋本英世、海上和美、 阿波扶美子、今井久晴 （◎会長 ○副会長） （事務局） 松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 島津 生涯学習課長 藤武 生涯学習課長補佐 福山 生涯学習係 三田 生涯学習係 中村
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TFL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項・議事録

別紙

令和元年度 第2回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：令和2年1月20日（月）午後2時00分から午後4時10分

○開催場所：松阪公民館 講座室1

○議題

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項
 - ①令和元年度松阪市図書館概況について
 - ②令和元年度事業について
 - ・地域開放型図書館について（飯高中・宮前小・香肌小）
 - ・第三次松阪市子ども読書活動推進計画策定について
 - ③意見交換・提言
4. 閉会

○出席者氏名

【委員】辻淳子、中村陽子、細野吉夫、宮本満生、井上恵子、
東川有子、横山みち代、鈴木美保、嶋本英世、海上和美、
阿波扶美子、今井久晴 計12名

【事務局】松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 島津
生涯学習課長 藤武
生涯学習課長補佐 福山
生涯学習係 三田
生涯学習係 中村

●会長あいさつ

会長：この協議会も2回目となります。年に2回ほどですが、みなさんの意見をいただきながら、将来の子ども達や年配の方に図書館をより良いものにしていきたいと思えます。皆さまの活発なご意見をいただければと思えますので、よろしくお願ひいたします。

●協議事項

①令和元年度松阪市図書館概況について

館長・事務局：令和元年度松阪市図書館の概況について、ご説明します。

(資料に基づき、館長・事務局から説明

内容…図書館利用統計、利用状況、定例行事・特別行事、展示コーナー、飯南・飯高地区貸出統計)

会長：ただ今の松阪市図書館事業や統計についてご説明いただいたが、委員の皆さまご意見等あればご発言いただきたい。

委員：年代別の利用者数を出すことは可能か。

館長：可能である。

委員：リニューアルしてから図書館の利用者が若返ったように感じるので、そういった年代別の実績が出るのであれば次回からお願いしたい。

館長：次回から年代別の実績報告もさせていただきます。

委員長：図書館定例行事の資料でボランティアが載っているが、同じように図書館で活動しているボランティアで載っていないボランティアがあるがどのような基準で資料に載せているのか。

事務局：こちらの資料は共催もしくは主催の事業のみとなっているため載っていないボランティアもでてくる。

委員：ボランティアからお願いさせていただいたものは省いているということですか。

事務局：今回の資料に載せているのは共催、主催の事業のみなので今後広く資料に載せていこうということであれば載せることは可能であるので今後検討させていただく。

委員：わかりました。

委員：嬉野図書館を利用しているが、20周年の催しが多かったこともあって伸びているのかと感じる。以前は、年配の方が多かったが子ども連れの利用者が増えたと思う。今後もイベントを継続していただきたい。

館長：嬉野については、伊勢中川駅周辺が栄えてきたこともあり、今後は子育て世代へ向けた催しも考えていきたい。

委員：松阪はあまり催しをやっているようなイメージがない。予算的にはどのようになっているのか。

館長：松阪の予算がないという訳ではなく、各図書館の特色ということで様々なイベントを計画している。今年度、嬉野は20周年ということもあり特別にやった部分もある。今後も様々なイベントをやりたいというスタッフからの声もあるので次年度以降ご期待いただきたいと思う。

委員：松阪の美術家や音楽家などを呼んで講演等いただきたいがどうか。

事務局：イベントについては、予算の中で工夫して行っているところである。広くたくさんの方に利用していただく為にも今後そういった意見も指定管理が切り替わる時期でもあるので考慮して契約していきたいと考えている。

②令和元年度事業について

事務局：「地域開放型図書館（飯高中・宮前小・香肌小）」、「第三次松阪市子ども読書活動推進計画策定」についてご説明します。

（資料に基づき、説明）

委員：パブリックコメントにもあるが、学校司書がここに記載されているように活動できているのであればよいが、要望されていることが多くこの計画のようにできていないのが現状ではないかと思う。学校長の意識によるところもあると考えられるので意識づけ等できたらいいなと思う。また各学校へ司書をさらに派遣してほしい。

事務局：学校長の位置づけの記載に関しては、この後ワーキンググループ会議がございますので、そちらで検討させていただきたいと思う。司書派遣については、予算も絡むことになるのでこの5年の計画には記載できない。ただ今後も増やせるように努力させていただく。

委員：保育園や幼稚園でボランティアへ声がかからないことがある。その要因としては、ボランティアの情報が共有できていないところにあると思うので、図書館でそうした情報を共有できればよいと思う。

事務局：本計画には、保育園や幼稚園すべてにボランティアを利用していただく目標を設定しており、ボランティアの一覧も掲載させていただく予定なのでこちらを活用して周知できればと考えている。

委員：小学校のボランティアをしているが、司書派遣の回数が減っていると感じる。以前は多く巡回していただいていたと思う。また環境も学校によってはよくないところもあるので今の派遣では時間が足りていないのが現状である。これを改善するために予算はとれるのか。

事務局：限られた予算であるので、現在ボランティアの方に頼らせていただいているのが現状である。嬉野管内については、中学校とも相談して小学校へ巡回いただくようになったため中学校は減ったが小学校は増えている。工夫しながらなんとか巡回させていただいているような状況であることをご理解いただきたい。

委員：司書の配置について高校は十分配置されているが、小学校、中学校はまだまだ足りていないため司書教諭の時間確保をしていくことが大切である
と考える。

委員：ボランティアの公民館講座について計画に内容は記載されているか。

事務局：内容についての記載はありません。

委員：そういった講座があることを知らなかったので周知の意味も含めて載
せてはどうか。

事務局：ありがとうございます。計画では平成30年度にあった三雲公民館講座
のことを記載させていただいている。詳細な内容の記載について検討さ
せていただく。

委員：学校司書について、派遣回数の実績等はあえて載せてはどうか。司書の派
遣回数を増やしてほしい。

事務局：成果目標には、5年後の予算のことを記載することは難しいと考えるた
めご理解いただきたい。

委員：飯高町の3校の地域開放型図書館について開いていただきありがとうございます
ございます。移住してきた若い方にとっても無くてはならない場所になり
つつあるといった話も聞く。私自身も宮前小学校と飯高中学校には行き
ましたがお母さん方が利用しておりアットホームな雰囲気がありよいと
感じた。今後もこうした取組を広めていってほしい。ただ1つ意見として、
松阪図書館の本を借りる時に図書館の利用カードがないと借りれないと
うことでよいか。

事務局：その通りである。本の管理上、図書館の利用カードでないと対応できな
い。

委員：飯高地域は高齢者が多くバスに乗っていきにしても時間がかかるので、3
校合同で利用カードが飯高町で作成できる日を作っていたいただければと思
う。

事務局：今後図書館と一緒に検討させていただきたいと思う。

委員：子どもの改革も重要であるがもっと親を改革すべきではないかと思う。親がまず本を読むことが重要ではないか。

委員：子どもに対しての読み聞かせをやっているが、大事なのは大人に対する読み聞かせではないか。一旦離れてしまったニーズを取り戻すことが必要ではないかと思う。なので大人向けのイベント等をつくる必要があると感じる。

事務局：この計画は、対象が子どもではあるがその親や家族を取り込むことは重要であると考えている。大人の行事については図書館の業務の中になると考える。

館長：松阪図書館ではティーンズコーナーを設けており、中高生向けの本を置いている。学校の図書係からの推薦本等も並べながら友達同士で情報交換をしてもらえそうな場になっている。嬉野図書館でも YA コーナーとして実施している。

委員：1年前にリクエストが5冊になり、その当時の印象ではまたリクエストの冊数が増えるのではないかという印象だったが10冊になる予定はあるのか。

事務局：昨年の図書館協議会時に前館長からその年のリクエストがとても多く対応しきれない為に1人5冊に減らした経緯があったが、いつまでかという期限まではお伝えしていなかったと思う。

館長：リクエストについては、10冊を5冊に減らしたことは妥当であると考えている。これを10冊に戻すことは当面考えていない。理由としてはリクエストする方が固定化されているため1人の方に数万円というお金をかけることになるためである。今後、公平性を保つ必要があるのではばらくは5冊でいきたい。

③意見交換・提言

委員：司書がいない分ボランティアを頼るのであれば、学校の読書室を開けるボランティアの要請ということを考えていかないといけないと感じた。今後検討お願いしたい。

委員：松阪図書館と嬉野図書館の両方を利用するが、松阪図書館の雰囲気の方が少し暗いように感じる。仕事を一生懸命されているというのはわかるが、声掛け等もう少しあってもよいのではないかと思う。

館長：貴重な意見ありがとうございます。スタッフ内で共有させていただく。

委員：計画のことになるが、ボランティア一覧のところで担当課把握団体と記載されているが、もっと載っていないボランティアがたくさんあると思うがどうか。

事務局：計画に記載のボランティアは第二次計画の時に記載があったボランティアや事務局で活動が確認できたものになるので、把握できていない部分があるかと思う。

会長：本日は、貴重なご意見をたくさんいただいたと思う。ありがとうございました。

以上 4時10分終了